

令和7年度 第3回 物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金実施計画

| No. | 推奨事業メニュー                           | 交付対象事業の名称     | 事業の概要<br>①目的・効果<br>②交付金を充当する経費内容<br>③積算根拠(対象数、単価等)<br>④事業の対象(交付対象者、対象施設等)  | 事業始期 | 事業終期 |
|-----|------------------------------------|---------------|--|------|------|
| 1   | ①食料品の物価高騰に対する特別加算                  | 市民生活応援商品券配布事業 | <p>①市民全員に市内でのみ利用可能な商品券(食料品にも利用可能)を配布することで、食料品等の物価高騰に伴う家計負担を軽減し生活支援を行うとともに、市内での消費を促進し域内経済の活性化を図る。</p> <p>②商品券負担金、業務委託料</p> <p>③・給付対象者<br/>基準日時点(令和8年2月1日)に本市の住民基本台帳に記載されている者(およそ34,000人)</p> <p>・給付額<br/>市民一人当たり8千円</p> <p>・事務費<br/>業務委託料 40,800千円<br/>⇒8千円×34,000人+事務費40,800千円=312,800千円<br/>合計312,800千円に交付金を充当</p> <p>④基準日時点(令和8年2月1日)に本市の住民基本台帳に記載されている者</p>   | R8.1 | R8.3 |
| 2   | ②エネルギー・食料品価格等の物価高騰に伴う子育て世帯支援       | 学校給食負担軽減事業    | <p>①米価格をはじめ、物価高騰の影響を受けている学校給食の材料費への補填により、保護者負担額の引き上げを抑制するとともに、学校給食の質・量の確保や安定的な提供を図る。</p> <p>②需用費/膳材料費</p> <p>③(教職員分の給食費は除く)<br/>・R6.4月～R7.3月実績=154,747千円(R7年度実績見込み)・・・I<br/>・I-R4年度実績148,382千円=6,365千円<br/>合計6,365千円のうち3,668千円に交付金を充当<br/>※残りの2,697千円はNo19において交付金を充当</p> <p>④市内小・中学校に通学する児童・生徒の保護者</p>   | R7.4 | R8.3 |
| 3   | ⑤医療・介護・保育施設、学校施設、公衆浴場等に対する物価高騰対策支援 | 公立学校等物価高騰対策事業 | <p>①エネルギー価格等の高騰による負担増を踏まえ、公立学校・給食センターにおいて増加している燃料費や電気使用料のかけ増し経費に対する支援を行うことで、施設運営の安定化を図る。</p> <p>②小中学校及び給食センターの電気使用料、燃料費の高騰分</p> <p>③(以下、比較時点と使用量は同等程度)</p> <p>・公立学校<br/>⇒R7年度の予想電気使用料67,862千円(R6実績)<br/>-R3年度の電気使用料51,020千円=16,842千円</p> <p>・給食センター<br/>⇒R7年度の予想電気使用料14,493千円(R6実績)<br/>-R3年度の電気使用料12,172千円(R3実績)=2,321千円<br/>⇒R7年度の予想燃料費(灯油・LPガス)13,091千円(R6実績)<br/>-R3年度の燃料費(灯油・LPガス)11,944千円(R3実績)=1,147千円<br/>合計20,310千円のうち11,704千円に交付金を充当<br/>※残りの8,606千円はNo20において交付金を充当</p> <p>④市内公立小中学校12校、給食センター</p> | R7.4 | R8.3 |
| 4   | ⑨推奨事業メニュー例よりも更に効果があると判断する地方単独事業    | 畜場物価高騰対策支援事業  | <p>①物価高騰の影響を受けている畜場施設の維持管理に対し、光熱費・燃料費等のかけ増し経費について対応することで、施設維持の安定化を図る。</p> <p>②畜場施設の燃料費・光熱費</p> <p>③(以下、比較時点と使用量は同等程度)</p> <p>・予想燃料費<br/>R7年度見込6,907千円-R2年度4,199千円=2,708千円</p> <p>・予想光熱費<br/>R7年度見込13,999千円-R2年度9,446千円=4,553千円<br/>合計7,261千円のうち4,184千円に交付金を充当<br/>※残りの3,077千円はNo21において交付金を充当</p> <p>④施設利用者</p>   | R7.4 | R8.3 |

令和7年度 第3回 物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金実施計画

| No. | 推奨事業メニュー                           | 交付対象事業の名称             | 事業の概要<br>①目的・効果<br>②交付金を充当する経費内容<br>③積算根拠(対象数、単価等)<br>④事業の対象(交付対象者、対象施設等)   | 事業始期 | 事業終期 |
|-----|------------------------------------|-----------------------|---|------|------|
| 5   | ⑨推奨事業メニュー例よりも更に効果があると判断する地方単独事業    | 指定ごみ袋製造経費高騰対策事業       | ①物価や人件費の高騰等による市指定ごみ袋の製造コスト上昇が避けられない中、市指定ごみ袋の価格上昇を抑制するために製造事業者へ補助金を支給することで現行の販売価格を据え置くこととし、物価上昇の影響を受ける市民に新たな負担を求めることなく生活を支援する。<br>②補助金<br>③(市指定ごみ袋の販売価格抑制のためのR7支援分補助金額を計上(R4年度新設))<br>大袋(45ℓ)…700,000枚×2.3円/枚=1,610,000円<br>中袋(20ℓ)…650,000枚×1.4円/枚=910,000円<br>小袋(10ℓ)…400,000枚×0.9円/枚=360,000円<br>合計2,880千円のうち1,660千円に交付金を充当<br>※残りの1,220千円はNo22において交付金を充当<br>④ごみ袋製造事業者(支援対象:住民) | R7.4 | R8.3 |
| 6   | ⑦医療・介護・保育施設、学校施設、公衆浴場等に対する物価高騰対策支援 | 公立病院等物価高騰対策支援事業       | ①市内公立病院におけるエネルギー、食料品等の物価高騰分を支援することで、地域医療の提供体制の持続を図る。<br>②補助金<br>③公立病院(府中市病院機構・湯が丘病院)の医療サービスの提供に要する経費のかなり増し経費相当額を交付する。<br>R7年度におけるかなり増し経費相当額<br>・エネルギー分 39,500千円<br>・食料品分 3,300千円<br>・委託料分 22,900千円<br>合計65,700千円に交付金を充当<br>④市内公立病院  | R8.1 | R8.3 |
| 7   | ⑦医療・介護・保育施設、学校施設、公衆浴場等に対する物価高騰対策支援 | 私立保育所等物価高騰対策支援事業      | ①物価やエネルギー価格等の高騰による負担増を踏まえ、私立保育所等に対し、安定した運営のために電気代等に係る支援金を給付する。<br>※財源として重点支援交付金を活用した県補助182千円を充当する。<br>②補助金<br>③・認可定員151名以上<br>1施設×単価378千円=378千円<br>・認可定員101～150名<br>2施設×単価270千円=540千円<br>・認可定員100名以下<br>3施設×単価180千円=540千円<br>合計1,458千円から県補助182千円を除いた1,276千円に交付金を充当<br>④私立保育所、私立認定こども園、私立幼稚園   | R8.1 | R8.3 |
| 8   | ⑦医療・介護・保育施設、学校施設、公衆浴場等に対する物価高騰対策支援 | 介護・障害福祉サービス物価高騰対策支援事業 | ①物価高騰等による負担増を踏まえ、介護サービス事業所・障害福祉サービス事業所等に対し、光熱水費・食料料費・燃料費等のかなり増し経費に対する支援を行うことで、負担の軽減を図る。<br>※財源として重点支援交付金を活用した県補助3,475千円を充当する。<br>②補助金<br>③運営事業所数139×200千円=27,800千円<br>※運営事業所数に応じた法人単位での申請とすることで、法人規模に応じた支援とする。<br>合計27,800千円から県補助3,475千円を除いた24,325千円に交付金を充当<br>④介護サービス事業所、障害福祉サービス事業所   | R8.1 | R8.3 |

令和7年度 第3回 物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金実施計画

| No. | 推奨事業メニュー                | 交付対象事業の名称                    | 事業の概要<br>①目的・効果<br>②交付金を充当する経費内容<br>③積算根拠(対象数、単価等)<br>④事業の対象(交付対象者、対象施設等)   | 事業始期 | 事業終期 |
|-----|-------------------------|------------------------------|---|------|------|
| 9   | ⑩地域公共交通・物流や地域観光業等に対する支援 | 公共交通でおでかけ応援クーポン事業            | <p>①物価高騰等の影響により利用が減少した路線バス及びタクシー事業者の乗客の回復を図るため、乗客が乗車時に使用できる1枚100円のクーポン券を発行する。</p> <p>②補助金、印刷費</p> <p>③・補助金(バス、市内4タクシー事業者)<br/>月額見込おおよそ2,566,600円×3か月≒7,700千円<br/>・事務費 クーポン券印刷費等<br/>100,000円×3か月=300千円<br/>合計8,000千円に交付金を充当</p> <p>④市内を運行する路線バス又はタクシー事業者</p>  | R8.3 | R8.3 |
| 10  | ②物価高騰に伴う低所得者世帯・高齢者世帯支援  | 防犯設備機器設置補助事業                 | <p>①物価高騰の影響に対する消費下支えと、市民の安心安全な生活環境の確保のため、65歳以上の市民が強盗対策や詐欺被害防止対策として導入する、録画機能付きテレビドアホン・迷惑電話防止機能付き機器・家庭用防犯カメラの設置費用の一部を補助する。</p> <p>②補助金</p> <p>③下記についての設置費用補助金を、合計1,500千円の予算範囲内で実施し、合計1,500千円に交付金を充当する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・録画機能付きテレビドアホン<br/>1件あたり補助金額 上限10千円(補助率1/2)<br/>10千円×70件=700千円</li> <li>・迷惑電話防止機能付き機器<br/>1件あたり補助金額 上限5千円(補助率1/2)<br/>5千円×20件=100千円</li> <li>・家庭用防犯カメラ<br/>1件あたり補助金額 上限10千円(補助率1/2)<br/>10千円×70件=700千円</li> </ul> <p>合計1,500千円</p> <p>④65歳以上の市民</p> | R8.3 | R8.3 |
| 11  | ⑥中小企業・小規模事業者の賃上げ環境整備    | 生産性向上設備導入補助事業                | <p>①物価高騰により企業の投資が滞らないようにするため、生産性向上(業務効率化、経費削減)に資する設備等導入を支援する。</p> <p>②補助金</p> <p>③50,000千円の予算範囲内で実施し、50,000千円に交付金を充当する。<br/>補助上限2,000千円×25件=50,000千円<br/>補助率4/5</p> <p>④市内企業(個人事業主含む)</p>   | R8.3 | R8.3 |
| 12  | ⑧農林水産業における物価高騰対策支援      | 活力ある強い農業経営基盤整備事業(共同利用機械導入支援) | <p>①物価高騰の状況であっても再生産可能な地域農業の経営基盤整備のため、兼業農家等が共同利用する農業用機械の共同購入(更新及び新規導入)に要する経費の一部を支援する。</p> <p>②補助金</p> <p>③30,000千円の予算範囲内で実施し、30,000千円に交付金を充当する。<br/>一組織の補助上限3,000千円×10組織=30,000千円<br/>・ただし、一戸あたりの補助上限 1,000千円<br/>・補助率 3分の2</p> <p>④市内に住所を有する農業者2戸以上で組織し、地域で営農に取り組み組織。ただし、共同購入を行う農業者に法人組織を含まないこと。</p>  | R8.3 | R8.3 |

令和7年度 第3回 物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金実施計画

| No. | 推奨事業メニュー                           | 交付対象事業の名称              | 事業の概要<br>①目的・効果<br>②交付金を充当する経費内容<br>③積算根拠(対象数、単価等)<br>④事業の対象(交付対象者、対象施設等)  | 事業始期 | 事業終期 |
|-----|------------------------------------|------------------------|--|------|------|
| 13  | ⑧農林水産業における物価高騰対策支援                 | 有害鳥獣被害防護柵(ソーラー化)設置支援事業 | <p>①イノシシ等の鳥獣による農作物被害を最小限に抑えることを目的に設置する防護柵について、物価高騰による資材費の高騰支援及びソーラー化による省エネ化・省力化支援を行うためソーラー電気柵等の設置に要する経費の一部を支援する。</p> <p>②補助金</p> <p>③下記の条件で、合計3,000千円の予算範囲内で実施し、合計3,000千円に交付金を充当する。</p> <p>・補助上限及び件数見込<br/>                     ソーラー電気柵 35千円×50件=1,750千円<br/>                     既設電気柵のソーラー化 10千円×35件=350千円<br/>                     メッシュ柵 30千円×20件=600千円<br/>                     ネット柵 10千円×15件=150千円<br/>                     既設防護柵の機能強化 10千円×15件=150千円<br/>                     合計3,000千円</p> <p>・補助率 2分の1</p> <p>④市内に農地を有している者または農地を耕作している者</p>   | R8.3 | R8.3 |
| 14  | ⑧農林水産業における物価高騰対策支援                 | 有機堆肥販売及び有機堆肥利用促進事業     | <p>①物価高の状況であっても、化学肥料からの転換に向けた地域資源循環型農業を推進するため、市内の堆肥加工センターや畜産農家が生産した有機堆肥の活用経費の一部を支援する。</p> <p>②補助金</p> <p>③1,500千円の予算の範囲内で実施し、1,500千円に交付金を充当する。</p> <p>有機堆肥購入1tあたり1,000円の補助×1,500t=1,500千円</p> <p>④市内の自己所有農地または利用権設定等を行った農地で農産物を生産し、出荷している市内農業者(団体及び法人含む)</p>   | R8.3 | R8.3 |
| 15  | ①食料品の物価高騰に対する特別加算                  | 学校給食負担軽減事業(R7補正分)      | <p>①米価格をはじめ、物価高騰の影響を受けている学校給食の材料費への補填により、保護者負担額の引き上げを抑制するとともに、学校給食の質・量の確保や安定的な提供を図る。</p> <p>②需用費/賄材料費</p> <p>③(教職員分の給食費は除く)</p> <p>・R6.4月～R7.3月実績=154,747千円(R7年度実績見込み)・・・I</p> <p>・I-R4年度実績148,382千円=6,365千円</p> <p>合計6,365千円のうち2,697千円に交付金を充当</p> <p>※残りの3,668千円はNo6Iにおいて交付金を充当</p> <p>④市内小・中学校に通学する児童・生徒の保護者</p>   | R7.4 | R8.3 |
| 16  | ⑦医療・介護・保育施設、学校施設、公衆浴場等に対する物価高騰対策支援 | 公立学校等物価高騰対策事業(R7補正分)   | <p>①エネルギー価格等の高騰による負担増を踏まえ、公立学校・給食センターにおいて増加している燃料費や電気使用料のかけ増し経費に対する支援を行うことで、施設運営の安定化を図る。</p> <p>②小中学校及び給食センターの電気使用料、燃料費の高騰分</p> <p>③(以下、比較時点と使用量は同等程度)</p> <p>・公立学校<br/>                     ⇒R7年度の予想電気使用料67,862千円(R6実績)<br/>                     -R3年度の電気使用料51,020千円=16,842千円</p> <p>・給食センター<br/>                     ⇒R7年度の予想電気使用料14,493千円(R6実績)<br/>                     -R3年度の電気使用料12,172千円(R3実績)=2,321千円<br/>                     ⇒R7年度の予想燃料費(灯油・LPガス)13,091千円(R6実績)<br/>                     -R3年度の燃料費(灯油・LPガス)11,944千円(R3実績)=1,147千円</p> <p>合計20,310千円のうち8,606千円に交付金を充当</p> <p>※残りの11,704千円はNo7Iにおいて交付金を充当</p> <p>④市内公立小中学校12校、給食センター</p> | R7.4 | R8.3 |

令和7年度 第3回 物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金実施計画

| No. | 推奨事業メニュー                           | 交付対象事業の名称              | 事業の概要<br>①目的・効果<br>②交付金を充当する経費内容<br>③積算根拠(対象数、単価等)<br>④事業の対象(交付対象者、対象施設等)   | 事業始期 | 事業終期 |
|-----|------------------------------------|------------------------|---|------|------|
| 17  | ⑪推奨事業メニュー例よりも更に効果があると判断する地方単独事業    | 畜場物価高騰対策支援事業(R7補正分)    | ①物価高騰の影響を受けている畜場施設の維持管理に対し、光熱費・燃料費等のかかり増し経費について対応することで、施設維持の安定化を図る。<br>②畜場施設の燃料費・光熱費<br>③(以下、比較時点と使用量は同等程度)<br>・予想燃料費<br>R7年度見込6,907千円-R2年度4,199千円=2,708千円<br>・予想光熱費<br>R7年度見込13,999千円-R2年度9,446千円 =4,553千円<br>合計7,261千円のうち3,077千円に交付金を充当<br>※残りの4,184千円はNo81において交付金を充当<br>④施設利用者   | R7.4 | R8.3 |
| 18  | ⑪推奨事業メニュー例よりも更に効果があると判断する地方単独事業    | 指定ごみ袋製造経費高騰対策事業(R7補正分) | ①物価や人件費の高騰等による市指定ごみ袋の製造コスト上昇が避けられない中、市指定ごみ袋の価格上昇を抑制するために製造事業者へ補助金を支給することで現行の販売価格を据え置くこととし、物価上昇の影響を受ける市民に新たな負担を求めることなく生活を支援する。<br>②補助金<br>③(市指定ごみ袋の販売価格抑制のためのR7支援分補助金額を計上(R4年度新設))<br>大袋(45ℓ)…700,000枚×2.3円/枚=1,610,000円<br>中袋(20ℓ)…650,000枚×1.4円/枚=910,000円<br>小袋(10ℓ)…400,000枚×0.9円/枚=360,000円<br>合計2,880千円のうち1,220千円に交付金を充当<br>※残りの1,660千円はNo91において交付金を充当<br>④ごみ袋製造事業者(支援対象:住民) | R7.4 | R8.3 |
| 19  | ⑦医療・介護・保育施設、学校施設、公衆浴場等に対する物価高騰対策支援 | 公立保育所物価高騰対策支援事業        | ①物価高騰の影響を受けている公立保育所に対し、光熱費等のかかり増し経費について対応することで、サービス提供の安定化を図る。<br>②公立保育所の光熱費<br>③公立保育所(市内4施設)の電気代について、令和7年度(見込)と令和2年度の差額をかかり増し経費として計上(比較時点と使用量は同等程度)。<br>・R7年度13,974千円(見込)-R2年度9,740千円=4,234千円<br>合計4,234千円に交付金を充当<br>④公立保育所   | R7.4 | R8.3 |
| 20  | ⑪推奨事業メニュー例よりも更に効果があると判断する地方単独事業    | 生涯学習センター物価高騰対策支援事業     | ①物価高騰の影響を受けている生涯学習センターの維持管理に対し、光熱費等のかかり増し経費について対応することで、サービス提供の安定化を図る。<br>②生涯学習センターの光熱費<br>③予想電気代(比較時点と使用量は同等程度)<br>R7年度5,824千円(見込)-R2年度3,570千円=2,254千円<br>合計2,254千円に交付金を充当<br>④施設利用者  | R7.4 | R8.3 |

令和7年度 第3回 物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金実施計画

| No. | 推奨事業メニュー                        | 交付対象事業の名称     | 事業の概要<br>①目的・効果<br>②交付金を充当する経費内容<br>③積算根拠(対象数、単価等)<br>④事業の対象(交付対象者、対象施設等)   | 事業始期 | 事業終期 |
|-----|---------------------------------|---------------|---|------|------|
| 21  | ①推奨事業メニュー例よりも更に効果があると判断する地方単独事業 | 公民館物価高騰対策支援事業 | ①物価高騰の影響を受けている公民館の維持管理に対し、光熱費等のかかり増し経費について対応することで、施設維持の安定化を図る。<br>②公民館の光熱費<br>③予想電気代(比較時点と使用量は同等程度)<br>R7年度12,444千円(見込)-R2年度9,120千円=3,324千円<br>合計3,324千円に交付金を充当<br>④施設利用者 | R7.4 | R8.3 |